

## ビデオ 「イラク戦争の真実」 購入しました

日本平和委員会・日本電波ニュース社制作

貸し出しは 井上まで (831-9122)

## 私たちは何をすればいいのか？

バクダット制圧以来4ヶ月になるのにイラクではまだ戦争が続き、米軍の死傷者数は発表されても、毎日のように市民が死傷しているのにその数は発表されていない。その数は8千人とも言われているが、イラク市民だけでなく報道関係やその他の外国人の犠牲者も出ている。そんな所に自衛隊が出て行って安全が守れるとは誰も思っていない。イラク人やアラブの憎しみは力によっては押さえることができないことは明白。

いまアメリカでも、イギリスでも根拠のない戦争にたいする批判が噴出している。国際的には国連総長が“国際法違反”に警告、元駐米チリ大使は“米は危険な超大国に”といい、マレーシアの首相は“世界は力が支配する石器時代に逆戻りした。今後は超大国の気まぐれによって独立国家の国境が脅かされるであろう”、ノーベル平和賞のアリアス氏は“アメリカは世紀の悪玉になった”とのべるなど、世界中の識者が警鐘を鳴らしている。

IAEAの事務局長は3月初の国連安保理で“核開発疑惑の文書は偽造”と報告したにもかかわらず、アメリカは攻撃に踏み切ってしまった。このように孤立しようとしているアメリカに盲目的に追従する小泉政権は、国会の承認なしで「いつでも、どこにでも」派兵できる体制を整えようと企んでいます。「北朝鮮に対していつでも即応できる体制づくり」という理屈でこれを実現しようとしているのです。憲法をないがしろにするこのたくらみを許すわけにはいきません。いま、私たちが最優先に取り組まなければならない課題は、平和憲法を守り、自衛隊を海外で戦わせないことです。自衛隊は自衛のための戦力であって、米軍の支援のためにはありません。このことを忘れて米軍の先制攻撃戦略に巻き込まれることになる、アメリカとともに日本が世界の悪玉、危険な手先ということになってしまいます。連帯の強化と独自の戦線の強化を！

(平和の会 井上)

### 活動ごよみ

7・26 県平和委常任理事会(保健生協ホール)

8・8 革新懇世話人会(神立コミセン)

8・10 ポッポの会すいとんの会(小岩田店)

8・15 終戦記念日市民のつどい(まちかど蔵)

8・26 平和行進県南実行委員会(つくば)

8・29 土浦平和の会理事会(1中地区公民館)